

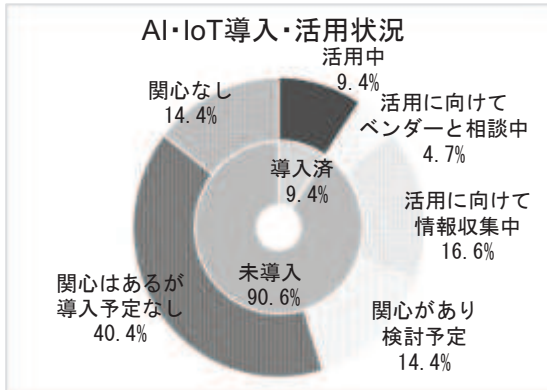
平成31年(2019年)3月22日
 産業労働部 産業政策課 産業戦略室
 (室長)宮坂 克良 (担当)瀧澤 修一
 電話 : 026-235-7206(直通)
 026-235-0111(代表) 内線2924
 F A X : 026-235-7496
 E-mail : senryaku@pref.nagano.lg.jp

産業生産性向上のためのAI・IoT、ロボット等利活用戦略(案)について

現状・課題

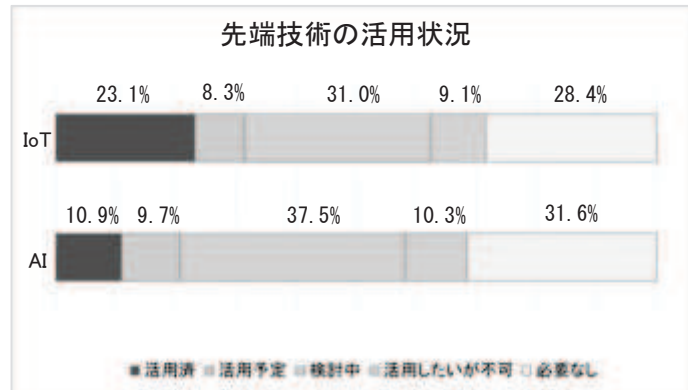
<長野県における利活用状況>

- ・十分に導入が広がっていない



長野県「景気動向調査(追加調査)」

<全国の状況>



財務省財務局「先端技術(IoT、AI等)の活用状況について」

目的(対象分野・対象技術)

AI・IoT等の利活用を拡大し、あらゆる産業分野において
「人口減少下における徹底した省力化の推進と新たな付加価値の創出」
 を目指す。

- ・対象分野:製造、サービス・観光、農林、建設、介護福祉等の多様な産業分野
- ・対象技術:AI・IoT、ロボット等、生産性向上に繋がるデジタル技術

推進体制

AI・IoT等先端技術利活用支援拠点

製造業のみならず様々な産業分野におけるAI・IoT等の利活用を推進する、県の支援拠点(中小企業振興センターに設置)

AI・IoT等利活用促進コンソーシアム(仮称)

県内中小企業への普及啓発・利活用の推進を図るため、県、市町村、経済団体、大学等により構成

KPI

AI・IoT等導入率 9.4%(2018年度) → 50.0%(2021年度)

労働生産性 7,314千円/人(2014年度) → 8,065千円/人(2020年度)

戦略の期間

2019年度から2021年度までの3年間とする。

【取組の概要、主な施策】

1 技術を知る

～デジタル技術利活用の機運醸成と導入メリットを学ぶ～

県内事業者のAI・IoT等導入率が低いことから、専門家等による相談・助言、先進・優良事例の普及を行い、事業者の理解を広げ、導入拡大につなげる。

(1) 専門家等による相談・助言

- ・AI・IoT等先端技術利活用支援拠点等の専門人材による相談、企業訪問等
- ・中小企業振興センター内のよろず支援拠点におけるAI・IoT等相談機能の強化
- ・商工会議所等の経営指導員の巡回指導により普及啓発を推進

(2) 先進・優良事例の普及

- ・優良事例や各種支援措置を取りまとめた利活用マニュアルの作成・配布等
- ・先進事例の収集・発信、事例を活用したセミナー等の開催、先進事業所視察

(3) 導入試行

- ・導入効果を理解するための機器・システムの貸し出し、相談・助言

2 技術を導入し、使いこなす

～デジタル技術導入により、徹底した省力化等により生産性向上を目指す～

事業者における専門人材の不足、理解不足が指摘されていることから、人材育成や活用支援等により導入拡大を図り、省力化を進めるとともに付加価値を高めて生産性の向上を図る。

(1) 人材育成・確保

- ・工科短期大学校、公立諏訪東京理科大学等におけるIT技術者(専門人材)の育成
- ・セキュリティ人材、ロボット利活用に関わる人材の育成
- ・プロフェッショナル人材戦略拠点によるIT技術者の紹介等による専門人材の確保

(2) 導入・活用支援

- ・産学官連携によるAI・IoT技術を活用したビジネスモデルの創出
- ・中小企業診断士など専門人材等との連携による、課題解決のための効果的な活用支援

(3) 財政・金融支援

- ・県内事業者の導入促進と県内ICT関連企業育成のための助成制度の創設
- ・国・県などの各種支援制度を広くPRし、積極的な活用を促進

3 先端技術活用のための環境を整備する

～ 将来に向けてデジタル技術利活用の促進・拡大を図る～

次代を担う子どもたちを育成するとともに、デジタル技術の供給・研究開発企業が集積する「デジタル技術利活用先進県」を目指す。

(1) 利活用しやすい環境整備と関連企業誘致

- ・ファブラボやコワーキングスペースの相互利用促進
- ・ICT関連企業の誘致促進

(2) 次世代を担う子どもたちの育成

- ・小中学校の授業を通じたデジタル教育の推進
- ・アプリケーションコンテスト等を通じた子どもたちのプログラミング思考の育成

(3) 規制改革

- ・規制改革推進によるAI・IoT等を利活用しやすい環境づくり